

ひだまり

新年明けましておめでとうございます。ひだまり新年号45号をお届けします。45号では栄和会各拠点と地域との交流についてご紹介いたしました。令和2年は札幌でのオリンピックの開催が待ちどおしいですね。栄和会では地域とのつながりを大切に考えております。今後も利用者様、ご家族様、関係者様のお力添えをいただきながら取り組んでいけたらと思います。

昨年ラグビーワールドカップやプレミア12での日本代表の活躍には心動かされました。特に札幌に縁がある選手や監督の活躍には親近感を感じることができました。今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されますので、今から選手の活躍が楽しみです。

さて、社会福祉法人栄和会は、昨年5月に特別養護老人ホームあつべつ南5丁目を開設し、無事に新年を迎えました。これもひとえに皆様方のご支援とご指導の賜物と、心より厚く感謝申し上げます。我々の介護業界では、介護従事者の待遇改善を目指し、平成23年から報酬上に位置づけられた介護職員処遇改善加算に加え、昨年10月に「介護職員等特定処遇改善加算」が給付されることとなり、栄和会としてもこれらの施策を活用し、介護職員等の就労環境等の改善に向けて取り組みを進めていきます。

本年も「人の和、地域の和、こころの和」を大切に、最大限のご満足とご安心をご提供できるよう、また、地域福祉・地域社会に貢献できるよう職員一同、ワンチームとなつて真摯に取り組んでまいりますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人 栄和会
特別養護老人ホームあつべつ南5丁目

石崎

剛

新年の御挨拶

CONTENTS

1 新年の御挨拶

地域貢献活動

- ・やすらぎ
- ・あつべつ
- ・あつべつ南5丁目
- ・厚別栄和荘
- ・ひらおか梅花実

4

寄贈品、介護職員初任者研修、編集後記

社会福祉法人 栄和会 基本理念

私たち栄和会職員は利用者、家族、地域社会との和を大切にすることを信条とし、

- 1 その人らしい尊厳ある暮らしの実現を目指します
- 2 自立した生活ができるよう支援します
- 3 専門的な技術と知識を持ち、質の高いサービスを提供します
- 4 安心、安全、快適な施設・設備の充実に努めます



新年明けましておめでとうございます。ひだまり新年号45号をお届けします。45号では栄和会各拠点と地域との交流についてご紹介いたしました。令和2年は札幌でのオリンピックの開催が待ちどおしいですね。栄和会では地域とのつながりを大切に考えております。今後も利用者様、ご家族様、関係者様のお力添えをいただきながら取り組んでいけたらと思います。



編物サロン『お・と・め』様よりあつたかな贈り物が届きました！
ひざ掛けやカーディガン、靴下やテーブルクロスが入っていました。

寄贈品

令和2年度 介護職員初任者研修（ヘルパー2級）

社会福祉法人 栄和会では、地域における介護人材の育成を図るため平成28年9月12日に初任者研修養成所を開設いたしました。



開催日時

一回目 6月の予定
二回目 12月の予定
お問い合わせください。

対象者

・原則全日程出席可能な方
（開催期間中、31回程度の通学となります）
・心身ともに健康な方

研修会場

札幌市厚別区厚別南5丁目1番10号
特別養護老人ホームあつべつ南5丁目

受講料

お問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 栄和会
介護職員初任者研修養成所
電話 011-884-8886
FAX 011-884-8801
〒004-0069
札幌市清田区平岡3条3丁目1-8
受付（9時～17時）

栄和会のご案内

やすらぎ (定員50名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●ケアハウス／特定施設入居者生活介護
●デイサービスセンター

☎011-896-5014

厚別栄和荘 (定員104名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護

☎011-896-2565

●デイサービスセンター

☎011-896-5014

●居宅介護支援事業所

☎011-896-2538



〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6

☎011-896-5010

ひらおか梅花実 (定員80名)

〒004-0873 札幌市清田区平岡3条3丁目1-8

●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護

☎011-884-8886

●デイサービスセンター

☎011-884-8882

●居宅介護支援事業所

☎011-884-8805

あつべつ (定員100名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6

●介護老人保健施設／短期入所療養介護
●通所リハビリテーション ●訪問リハビリテーション

☎011-896-5020

あつべつ南5丁目 (定員80名)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南5丁目1-10

●特別養護老人ホーム／空床型短期入所生活介護

☎011-375-0526

●デイサービスセンター

☎011-375-0375

●居宅介護支援事業所

☎011-375-6825

あつべつ南5丁目

特別養護老人ホームあつべつ南5丁目は、厚別南地区の住宅街の一角に位置し、厚別中央通り沿いでバスの本数も多く、新札幌の商業地区からのアクセスも大変よい場所にあります。そのような立地条件を有効に活用しようと、開設準備の段階から『施設を利用される入居者様・ご家族様だけではなく、ご近所や周辺地域の皆様、子供からお年寄り・障がいのある方など様々な人が集い交流できる場を作ろう』と企画してきました。今回は、「施設って意外と気軽に立ち寄れる！便利だね！」と感じていただけるよう、そんな実例をご紹介します。



【カフェあるくっちゃ】

特別養護老人ホームの1階には「カフェあるくっちゃ」が併設されています。特養とは別のカフェ専用出入口もあり、入居者様・ご家族様だけではなく地域の方・通りすがりの方などどなたでもご利用しやすい工夫をしています。メニューはデザートや軽食などお手頃価格で販売しており、駄菓子もありますのでお子様も楽しめると思います。

また、カフェの運営は、障がい者就労支援事業などを展開する(株)オアシスに委託し、障がいのある方の就業場所としても活用していただいております。「カフェあるくっちゃ」は高齢者・地域住民・障がい者など様々な方が集い・交流できる場となっています。



【地域交流スペース(福祉避難場所用スペース)】

介助を要する地域の方々の避難場所として活用される「福祉避難場所用スペース」を施設内に設置しています。通常時は職員研修や会議・行事等のほかに、地域貢献事業の一環として無料で開放し、「地域交流スペース」として広く地域の皆様などに活用していただいております。活動後はカフェでお茶をされたり、施設を見学されたりと、交流や施設を知る機会にもなっています。

活用実績としては、「介護職員初任者研修」「認知症カフェ」「家族介護者のつどい」「認知症サポーター養成講座」「地域住民主体のサークル活動」「地域の関係機関・専門職の研修」など多数あります。ご利用される場合は、特別養護老人ホームあつべつ南5丁目（電話：375-0526）までお問い合わせください。



ひらおか梅花実

ひらおか梅花実では、地域住民の方々のご支援をいただき、音楽会や書道教室、墨絵サークル、手芸サークル、体操クラブなど多くの活動を実施しています。開設当初は、清田区内には既に老舗の特別養護老人ホームなどが、地域住民の方々との密接な結びつきを持って運営されていたため、新参者の私たちが地域住民の方々とのようなきつかけでお近づきになれば良いのか、手探りの状態でした。しかし、施設見学や利用相談などちよつとしたきつかけから、少しずつ町内会や区社協、小中学校等との接点が増え現在に至っています。梅花実の音楽会“梅音”は、民謡やカラオケ、アコーディオン、ギターなど多彩な地域住民の方々がボランティア演者として登場して下さっています。既に400回以上の開催となりました。近隣の自治会から、役員としての活動にお誘いいただいたことも喜ばしい出来事でした。現在は、福祉厚生保健衛生部副部長の役割をいただき、ごみステーションの管理や、年2回のごみ拾いの企画、夏祭りのイカ焼き、焼き鳥係など、役員としての活動にも参加させていただいています。職員が利用する駐車場とひらおか梅花実までは徒歩7～8分ほどの距



厚別栄和荘

特別養護老人ホーム厚別栄和荘においては、近隣の北海道札幌養護学校と、不定期で交流会などを持つ機会を作り、繋がりを深めてまいりました。その後、平成29年より北海道札幌養護学校の生徒様の作業学習の一環として厚別栄和荘で作業活動を行う事となりました。

北海道札幌養護学校の中等部、高等部それぞれと打ち合わせを重ね、年間毎にスケジュールを調整し取り組んでおります。中高等部生徒の活動能力、作業内容の提案等の話し合いを経て、栄和荘敷地内・建物内でのスリッパ清掃、車椅子清掃、敷地内除草作業、除雪作業という形で作業学習を実施していただく事で、生徒様には「働く力」は発揮する場となり、栄和荘は日頃行き届かない部分を綺麗に整える事ができるという双方に意味のある形を作っていく事ができております。

活動は中高等部合わせ、年間通して15回前後実施しており、ホームページにアップし、取り組みを発信させていただいております。また昨年は、活動いただいた事に対して感謝状を作成し、北海道札幌養護学校の全校集会にお招きいただき、壇上にて感謝状をお渡しさせていただいております。

生徒様におかれましては、学校内で作業練習を重ねたうえで、栄和荘での作業学習に取り組んでもらっており、栄和荘に行くメンバーに選ばれたというところにも喜びを感じていただいているとの事です。作業のみならず、開始時終了時の挨拶の練習も重ねて来荘して下さっており、一つひとつに一生懸命さが感じとる事ができております。今後も活動意欲、働く喜びを感じてもらえるように繋がりを大切にしていまいります。

今回は、北海道札幌養護学校との繋がりについて説明させていただいたところではありますが、様々な面で、地域住民との繋がりを大切にしていこうと、小さなきつかけを見逃す事なく、真摯に取り組んでいく所存です。



離がありますが、道中、自治会の方に「おはようございます」と挨拶をすると、「いつてらっしゃい」と声をかけてくださる方がいます。更には「これ（施設に）飾って」と、庭の切り花をくださる方までいらっしゃいます。

また、近郊の小中学校の職業体験など課外授業の受入もしており、先日小平岡中央小学校の5年生が3日間に分けて訪れてくれました。児童が用意してくれた貼り絵をしながら、利用者の方々と楽しく交流会が行われました。札幌国際大学からは園芸療法を学ぶ学生の皆様が訪れ、園芸療法の指導を行ってくれています。この活動も10年近くの取り組みになります。学生とマンツーマンで取り組む時間ですので、まるで孫と過ごすひとときのように、皆様のとびきりの笑顔に会える場になっています。

地域の皆様との関わりによって、利用者様や職員が日々元気をいただきながら過ごさせていただいています。この平岡地区と縁をいただき開設したひらおか梅花実。地域住民の皆様がこれからも安心して住み慣れた場所で暮らし続けることができるように、私たちもしっかりと恩返しをしていきたいと考えています。顔の見える関係を深め、多くの方にひらおか梅花実をご活用いただくことができるよう努めて参ります。



地域貢献活動

やすらぎ、老健あつべつ、厚別栄和荘、ひらおか梅花実、あつべつ南5丁目の
地域貢献や演芸交流会など活動報告です！

老健あつべつ

介護老人保健施設あつべつでは、平成27年度から地域の方々を対象として、年に数回、厚別区内の会館などで認知症に関するお話や音楽療法を行っています。

音楽療法とは、音楽の持つ特性を活用するプログラムを通して脳の活性化や心身に安定をもたらすリハビリテーションの一種です。

当施設では音楽療法士によるプログラムを展開し、認知症予防に繋がる活動を行っています。今回は活動内容を知っていただき、興味を持っていただくきっかけになりますと幸いです。

プログラムは、認知症に関する講話と音楽療法の体験を合わせて1時間程度です。

講話は認知症と物忘れの違いや、脳を活性化し老化をゆるやかにするためのポイントをお話しています。認知症を患っても地域で支えあいながら住み慣れた場所で生活を継続できるように、認知症の正しい理解を広めていくことも活動の大きな目的です。音楽療法では呼吸法から始まり、歌唱、打楽器やハンドベルを使った合奏、音楽体操を行います。曲は昔懐かしい童謡や唱歌、歌謡曲などバラエティに富んでおり、皆様それぞれにその時代を思い出しながら楽しまれています。

懐かしい歌を聴くとその頃の記憶と結びつき、感情が動かされます。皆で歌い、体を動かすことで他者との交流を楽しむことにもつながります。

活動中は笑いが多くあり、時にしみじみするなど色々な感情が湧き出て最後は皆さん必ず笑顔になります。「普段こんなに声出すことないから、すっきりした！」「あーよく笑った」「あつという間！楽しかった」「昔のことを思い出して懐かしくなった」等の声が挙がっています。全身の血流が良くなることで、心も体もほかほかと暖くなり皆様表情良く帰られます。

音楽療法に参加された方の中には当施設に興味を持っていただきボランティアとして活動されている方もおり、地域の方々に栄和会を知っていただける機会にもなっています。



今後も地域とのつながりを大切にして皆様に楽しみのしていただけるよう、活動の幅を広げながら継続していきます。

やすらぎ

小野幌クラブから20名の皆さんが見えて体操・カラオケ・コーラス・マジックを披露していただきました。札幌スマイル体操は見学の入居者様も職員も椅子に座ったままで動きを真似しながら参加していました。お揃いの水色のTシャツがとても鮮やかで素敵でした。コーラスも歌詞カードを見ながら一緒に口ずさんでいました。マジックは頭の体操になり、体を動かしたり歌ったり、脳トレをしったりあつという間の1時間でした。

終わりに参加された皆さん全員で北国の春を大合唱しました。入居者様33名、山本町内会の方々10名程参加されました。今回みえた山本町内会の皆様は、はつらつ体操にも参加される予定です。



お茶会

やすらぎでは年に2回7月と12月に厚別北中学の茶道部の生徒さん1～3年生30名が来てくれます。中には男子生徒さんもいて、全員でお茶を点ててくれます。テーブルのお花はやすらぎの入居者様が畑で育てたお花もあり、入居者様の有志の方が生けてくれています。花瓶はいただき物、手作りのものです。甘いお菓子と一緒に和やかな雰囲気の中入居者様やデイ利用の方、職員もお茶をいただきながらお孫さんのような生徒さんと会話を楽しんでいます。11年続いている恒例の行事になりました。

はつらつ健康教室

はつらつ健康運動教室をやすらぎ食堂で行います。札幌市の体操で冬場の健康づくりのために介護予防体操『サッポロスマイル体操』や健康講話や脳を鍛えるレクリエーションを行います。ケアハウスは開設から26年経過し70歳代で入居された方も90歳代となりお顔触れも急激に変わっている状況です。平均年齢88.98歳。開設当初は山本のお祭りに参加することもありましたが暫くご無沙汰しております。今後はやすらぎの皆様、山本地区の皆様とケアハウスを拠点として体操やレクを通じて交流を図っていきます。